

# 沖縄県平和祈念資料館だより

## 復帰40周年記念事業 『子や孫につなぐ平和のウミイ事業』の実施について

戦後30年を迎えた頃から、体験者はようやく辛い戦争体験を語り始めました。その体験者の証言は、「モノ資料」を凌ぐ力で観る人の心に戦争の悲惨さ、愚かさ、そして平和を愛する「沖縄のこころ」を世界に発信しています。

当館では、これまでも年間20名程度の体験記録の収集・発信等に努めてきました。しかし、戦後67年が経過し、当時中学生であった方々も80歳を超えてきており、貴重な体験の喪失が危惧されています。

そこで、復帰40周年記念事業の一つとして『子や孫につなぐ平和のウミイ事業』を実施することになりました。この事業は、大きくわけて二つの事業から構成されています。一つは、これまで当館が行ってきた戦争体験者の証言を業者が収録・編集する「戦争体験証言収録事業」の拡大版で本年度は50人分の収録を予定しています。

もう一つの「家族に語り継ぐ平和のウミイ事業」は、県民参加型の新しい取組で、県民自らが、祖父母や父母の戦争体験を子や孫に語る様子を撮影し応募するというものです。本年度は300人分の編集を予定しています。

この二つの事業で集められた沖縄戦の歴史的教訓を記録に残し、発信することで、証言者の子や孫、そして、戦争を知らない次世代に平和の尊さを引き継ぐことができると考えています。県民の皆さんの積極的な応募をお待ちしています。

平和へのウミイを語り継いでいこう

2012年9月6日(木)

お問い合わせ先  
TEL: 098-995-6207 FAX: 098-995-6209  
E-MAIL: nobu@vision-projects.jp



小学校低学年の部  
石垣市立白保小学校2年 世持 結生

## 第22回 「児童・生徒の 平和メッセージ」

図画部門  
最優秀賞作品



特別支援学校・学級の部  
南風原町立北丘小学校3年 玉城 空良



小学校高学年の部  
那覇市立高良小学校6年 田代 涼乃



中学校の部  
宮古島市立久松中学校3年 下地 深青



高校の部  
県立首里高校2年 稲嶺 茉瑚



# 『絵本が語りつぐ戦世(イクサユー)』展示会報告

## 1. 趣旨・展示内容

沖縄戦を語りつぐ事が急務となっている現在、沖縄戦に関する絵本の絵を中心に展示することで、老若男女全ての方々にご覧頂きやすい展示会を目指しました。それにより、沖縄戦について内面から理解を深めていって欲しいという思いがありました。おかげ様で6200人以上の方に御来場頂き、ご好評を頂きました。

## 2. 開催場所・期間

平成24年 6月18日(月)～ 8月 5日(日)沖縄県平和祈念資料館 1階企画展示室

○作家による作品解説:6月18日(月) 11:30～12:30

○作家による絵本の読み聞かせ:

7月1日(日)14:00～16:00



# 平成24年度 第1回子ども・プロセス企画展 『子どもたちが見た沖縄戦』

毎年慰霊の日の前後の期間には、沖縄戦をテーマとした子ども向けの企画展を開催しています。本年は「子どもたちが見た沖縄戦」の展示を6月13日～7月16日に開催しました。

沖縄戦を「避難」「学徒隊」「鉄の暴風」「ガマ」「収容所」と5つのコーナーに分け、沖縄戦ときに国民学校や中学校の児童生徒だった方々の体験を証言文と自筆の絵で展示し、関連する米軍撮影の写真を組み合わせて

理解が深まるようにしました。

沖縄戦の悲惨な状況の中を生き抜いた子どもたちに焦点をあてることで、見学する側の小中学生に身近に感じてもらい、戦争や平和についてより深く考える機会にすることをねらいとしました。

多くの子どもたちが平和学習や遠足、修学旅行等で訪れて熱心に見学し、感想や平和のメッセージを短冊に寄せてくれました。



# 第22回「児童・生徒の平和メッセージ展」報告

## (1)内容

恒久平和を希求する「沖縄のこころ」を県内外に発信する本館の主要事業の一つである「児童・生徒の平和メッセージ展」は今年で22回目を迎えました。戦争や人権問題など、学校などで学習したこと、普段の生活の中で感じた「平和」をイメージした図画、詩、作文を県内の小、中学校、高等学校及び特別支援学校の児童・生徒から募集し、優秀な作品を表彰するもので沖縄県教育委員会との共催で毎年実施しています。

今年は県内の158校から、4,458点の作品の応募がありました。これら多くの作品の中から、見事に入選した優秀作品を当館の展示会を皮切りに、八重山平和祈

念館、名護博物館、うるま市立石川歴史民俗資料館、県庁県民ホールの5会場で巡回展示いたしました。

昨年は東日本大震災を経験し、今回も引き続き戦争がないことだけでなく、安心して暮らせる毎日、楽しく学校に行って友達と仲良くできることが「平和」という作品も多く見られるようになりました。児童・生徒のみなさんの平和への純粋な願いが表現されており、子どもから大人まで、多くの発見と感動、そして平和創造への気持ちを改めて実感させるものとなっております。

## (2)開催場所・期間

- 沖縄県平和祈念資料館 6月23日(土)～7月6日(金)
- 八重山平和祈念館 7月12日(木)～7月22日(日)
- 名護博物館 8月1日(水)～8月5日(日)
- うるま市立石川歴史民俗資料館  
8月7日(火)～8月12日(日)
- 県庁1階(県民ホール) 8月20日(月)～8月24日(金)



オープニングテープカット(本館)

## 図画部門 優秀賞作品



渡名喜村立渡名喜小学校3年  
南風原 駿



うるま市立具志川中学校3年  
大城 芽唯



浦添市立神森小学校6年  
西平 百花



南城市立大里中学校3年  
城間 鈴惟



南城市立百名小学校5年  
崎間 恒次郎



うるま市立中原小学校6年  
宮城 里奈



県立那覇高校2年  
外間 花怜



県立浦添工業高校2年  
稲福 彩

# 第22回「児童・生徒の平和メッセージ」入選者一覧(優良賞以上)

## ■ 図画の部入選者

## ■ 作文の部入選者

## ■ 詩の部入選者

小学校(低)の部(4名)			小学校(低)の部(3名)			小学校(低)の部(3名)		
最優秀賞	世持 結生	(白保小2年)	最優秀賞	田島 茉莉	(大謝小2年)	最優秀賞	上地 亜利佐	(白保小1年)
優秀賞	南風原 駿	(渡名喜小3年)	優秀賞	大城 朝範	(与那国小3年)	優秀賞	嘉納 李子	(読谷小3年)
優良賞	山内 翔太	(渡慶次小2年)	優良賞	金城 舞香	(真壁小3年)	優良賞	大島 美海	(白保小1年)
	上原 花穂	(大本小3年)						
小学校(高)の部(9名)			小学校(高)の部(8名)			小学校(高)の部(9名)		
最優秀賞	田代 涼乃	(高良小6年)	最優秀賞	米須 帆隆	(北玉小4年)	最優秀賞	田代 涼乃	(高良小6年)
優秀賞	崎間 恒次郎	(百名小5年)	優秀賞	名嘉 和音	(豊見城小6年)	優秀賞	竹富 花	(とよみ小5年)
	西平 百花	(神森小6年)		喜納 そら	(上田小6年)		喜屋武 大海	(北玉小4年)
優良賞	宮城 心愛	(伊良波小4年)	優良賞	国吉 涼風	(光洋小6年)	優良賞	友利 拓誠	(上田小6年)
	友利 花音	(豊崎小5年)		喜入 凜莉子	(光洋小6年)		我如古 友南	(白川小4年)
	濱崎 都南	(伊良波小6年)		奥村 琉奈	(光洋小6年)		内間 誉	(田場小6年)
	仲尾 和香奈	(当山小6年)		仲地 聖羅	(北玉小4年)		高堀 寛子	(真和志小6年)
	宮平 柚希	(座間味小6年)		金城 優輔	(上田小6年)		新城 百音	(曙小5年)
	宮里 うらら	(座間味小6年)					崎原 日菜子	(北玉小4年)
中学校の部(10名)			中学校の部(10名)			中学校の部(12名)		
最優秀賞	下地 深青	(久松中3年)	最優秀賞	上原 晴美	(沖縄尚学中2年)	最優秀賞	照屋 希之薫	(潮平中2年)
優秀賞	大城 芽唯	(具志川中3年)	優秀賞	宮里 瑞姫	(座間味中2年)	優秀賞	比屋根 憲太	(大里中3年)
	城間 鈴惟	(大里中3年)		宮平 美海	(座間味中3年)		玉城 亜梨紗	(潮平中3年)
優良賞	仲宗根 沙也	(平良中1年)	優良賞	林 遼太郎	(沖縄尚学中2年)	優良賞	呉屋 鳳輝	(鏡原中3年)
	平良 麻陽	(与那原中2年)		インマン・セイラ	(兼城中3年)		大城 さくら	(座間味中3年)
	石川 南々帆	(知念中2年)		盛根 芽生子	(佐敷中2年)		我如古 友香	(東風平中1年)
	仲宗根 しずく	(宮里中3年)		竹島 伸	(座間味中3年)		山田 萌	(名蔵中2年)
	西永 彩七	(浦添中3年)		喜屋武 利温	(座間味中1年)		平良 匠	(松島中3年)
	島袋 清香	(具志川中3年)		山代 萌	(沖縄尚学中1年)		新里 亜由美	(高嶺中3年)
	平安名 流華	(具志川中3年)		ジョーンズ 恵梨華アンジェラ	(アメラジアン中3年)		前迎 義広	(波照間中1年)
					伊禮 仁	(仲西中2年)		
					桃原 優	(西原東中3年)		
高等学校の部(7名)			高等学校の部(11名)			高等学校の部(11名)		
最優秀賞	稲嶺 茉莉	(首里高2年)	最優秀賞	山口 かれん	(開邦高3年)	最優秀賞	金城 美奈	(首里高3年)
優秀賞	稲福 彩	(浦添工業高2年)	優秀賞	大城 さゆり	(開邦高3年)	優秀賞	津嘉山 元	(浦添工業高1年)
	外間 花怜	(那覇高2年)		大城 沙耶	(開邦高3年)		嘉数 夕海	(普天間高3年)
優良賞	東風平 真子	(那覇高1年)	優良賞	外間 咲帆	(前原高3年)	優良賞	渡具知 萌絵	(開邦高3年)
	稲福 美咲	(普天間高2年)		我那覇 結女	(前原高3年)		兼城 歩生	(前原高3年)
	小嶺 萌々子	(首里高3年)		玉城 ちひろ	(開邦高3年)		新垣 楓	(那覇西高1年)
	上原 ゆりあ	(糸満高3年)		比嘉 将之	(開邦高2年)		安里 美咲	(前原高3年)
			西野 僚真	(前原高3年)	玉城 愛	(前原高3年)		
			小橋川 文乃	(開邦高1年)	棚原 彩	(北中城高3年)		
			島袋 貴仁	(前原高3年)	兼元 唯之	(那覇西高1年)		
			町田 あさひ	(前原高3年)	尾崎 夏美	(浦添商業高3年)		
特別支援の部(3名)			特別支援の部(1名)			特別支援の部(3名)		
最優秀賞	玉城 空良	(北丘小3年)	優秀賞	當山 優衣	(宜野湾中1年)	最優秀賞	豊里 凜	(北玉小4年)
優秀賞	宮城 里奈	(中原小6年)				優秀賞	玉城 幸和	(名護特支中2年)
優良賞	徳元 佑気	(高嶺小6年)				優良賞	玉城 千秋	(名護特支中2年)



# 沖縄県平和祈念資料館第13回特別企画展

ウチナーンチュ イクサユ ユー  
「沖縄人が見た戦世とアメリカ世」

## 1. 開催期間

平成24年10月10日(水)～12月9日(日)沖縄県平和祈念資料館  
平成25年1月18日(金)～2月24日(日)八重山平和祈念館

2. 開催場所: 沖縄県平和祈念資料館 企画展示室  
八重山平和祈念館 第2展示室



## 3. 趣旨

1945年、沖縄は20万人余の尊い生命と大切な文化遺産を失うこととなった。沖縄戦(沖縄での戦い)である。その沖縄戦から67年、復帰40年を迎える。年月と共に、悲惨な戦争の歴史的事実を風化させることなく、次の世代へ正しく継承し恒久平和の樹立に寄与しなければならない。今年度の特別企画展においては「戦中(戦世)・戦後(アメリカ世)」における実物資料や写真パ

ネルの掲示、ビデオ上映を行う。沖縄人(ウチナーンチュ)が見てきた、戦争中(イクサ世)から戦後もアメリカに支配され続けたアメリカ世において、戦争に向けての住民動員体制や戦争に取り込まれた住民、戦後における米国統治下の沖縄と、平和を求め立ち上がる沖縄人(ウチナーンチュ)について掲示し、平和について考える機会とする。

## 4. 展示内容(予定)

### I部 イクサユ 戦世の人々(戦争に取り込まれた住民)

#### ○沖縄戦の概要

- ・軍民一体の戦闘協力
- ・戦争被害
- ・戦時状況と戦時絵



### II部 ユ アメリカ世の人々(平和を求め立ち上がる沖縄人) ウチナーンチュ

#### ○廃墟から立ち上がる沖縄人 ウチナーンチュ

- ・収容所からの脱出
- ・戦後復興にむけて
- ・高等弁務官
- ・復帰運動



## 第6回 千羽鶴引渡し式

当資料館には県内外の児童生徒、一般の方々より平和への祈りを込めて折られた千羽鶴が、毎年約80万羽から100万羽以上も奉納されます。これらの千羽鶴はNPO法人千羽鶴未来プロジェクトを通し、再生紙やノートにリサイクルされ、アフガニスタンやルワンダなど戦争被災国の恵まれない子どもたちに届けられています。

今年も6月9日(土)に当資料館大会議室で行われ、県内ボランティア団体、障がい者団体、県婦人連合会、小中高生やその保護者など約200人が参加しました。また、同プロジェクト顧問で元沖縄県知事 稲嶺 恵一様も開会式でのあいさつの後、子どもたちと一緒に最後まで仕分け・解体作業に汗を流していました。



引渡し式の様子



一生懸命に仕分けする参加者のみなさん



後援頂いた糸満青年会議所の皆さん

## 友の会活動状況

**1. 沖縄県平和祈念資料館友の会**(平成17年設立)では、資料館と連携しながら学習会やフィールドワークを自主的に行うとともに、以下のような活動を行っています。

- (1)地域(県全域)および学校における平和学習の支援
- (2)県外からの平和学習団体への講和・ガイド
- (3)沖縄県平和祈念資料館常設展示室での解説



講話:大城藤六氏(5月12日)

**2. 活動状況**(平成24年4月から7月5日現在)

(1)平和講和・ガイド実績

団体	実施件数	実施人数	派遣講師
高等学校	14件	3,297名	14名
中学校	38件	3,909名	38名
小学校	17件	8,315名	17名
その他	5件	272名	5名
合計	74件	15,793名	74名



学習会の様子(5月12日)

県内学校:小学校 16校、中学校 11校、高校 4校  
 県外学校:小学校 1校、中学校 27校、高校10校

(2)常設展示室解説委員 配置実績74人  
 平成24年4月~7月5日

(3)平和祈念財団このほり掲揚事業への協力  
 (4月28日)

(4)平成24年度 友の会総会 5月12日(土)

(5)学習会 5月12日(土)「戦争体験談を聞く」

講師:大城藤六氏、中村功氏



平和講話の様子(7月6日)

# 八重山平和祈念館 平成24年度 事業実施報告

## (1) 沖縄復帰40周年記念企画展「資料でみる八重山のあゆみ」

[期間]平成24年5月10日(木)～5月20日(日)

沖縄県は、1972年(昭和47年)5月15日の日本復帰から40周年を迎えました。復帰40周年を迎えるにあたり、復帰前から復帰後と、時代の流れと共に移り変わる八重山地域の当時の姿を、いま一度思い返す機会を提供する目的で企画展を開催しました。展示については、「復帰前の生活」、「復帰への取り組み」、「そして復帰後」に分けて紹介し、復帰を象徴する当時の写真や資料、映像を取り揃えるとともに、新聞や雑誌を手に取り、その時代の雰囲気を感じることができるよう

にしました。来館された方々から、その当時を懐かしむ内容の感想が多数寄せられました。



## (2) 企画展「八重山 戦後の開拓移民」展

[期間]平成24年6月12日(火)～7月1日(日)

戦後、本島や宮古島等から八重山地域へ移住してきた開拓移民の歴史などを取り上げ紹介しました。

開拓移民の歴史は、原野を切り開き、色々な苦勞を乗り越え、想像を絶する状況から始まりましたが、その当時の開拓移民と開拓地の実状を伝えることを目的として開催しました。展示については、戦後の八重山の開拓地における写真や証言、映像等を取り揃えることにより、当時の雰囲気を感じることができるようになりました。また同時に、開拓移民により患者数が増加した移民マラリアについてもコーナーを設置しました。



## (3) 「児童・生徒の平和メッセージ」展

[期間]平成24年7月12日(木)～7月22日(日)

八重山会場では、八重山地区の入選作品20点(図画9点、作文3点、詩8点)を含む86点の作品を展示しました。開会式展では、八重山地区の入選者19名を招待し、詩の部最優秀賞に輝いた上地亜利佐さん(白保小学校)などによる作品朗読や、代表生徒によるテープカットを行いました。児童生徒やご家族など、たくさん

### 八重山会場

の方々にご参加いただき、入選児童生徒を激励しました。会場には八重山地域の児童生徒の入選作品を集めたコーナーを設置し、期間中は入賞者の家族や親戚の方なども多数訪れ、子供たちの豊かな感性にじっくりと見入っている様子でした。



八重山会場オープニング



作品を見学する児童・生徒



# 第22回 児童・生徒の平和メッセージ

〔高等学校 詩の部門〕  
最優秀賞

## 礎に思いを重ねて

沖縄県立首里高等学校 三年 金城 美奈

月桃の花が白くさめく頃  
私はあの手紙と出逢った  
それは祖父の兄が家族に宛てた  
一通の手紙  
彼の人生で家族に選んだ  
最後の手紙

第三中学校から届いたその手紙には  
(現県立名護高等学校)  
戦争のことは、  
何一つ書かれていなくて、  
勉学に励み  
家族を思いやる  
真っすぐな青年の心が記されていた

これから迫る  
黒い影とは対照的に  
その手紙は温かく  
誠実さで溢れていて  
白い光で包まれているようだった

この手紙と出逢った後  
私は初めて  
彼の礎の前に立った

礎に刻まれた  
その名前  
ざらざらと太陽に照りつけられた  
その名前  
指でなぞると一文字一文字が

焼けるように熱くて  
あなたの思いの強さが伝わってくる  
私の心に伝わってくる

礎に刻まれた  
あなたの名前は  
とても小さくて  
とても窮屈そうで  
この文字では表せないほどの人生が  
あなたにはあった  
この文字では抱えきれないほどの未来が  
あなたには待っていた

でも何もかもを奪われてしまった

あなたが過ごしたあの島は  
地図に書かれたあの島は  
沖縄から遠く離れていて  
広大な海に囲まれている

あの遠い島から  
あの広い海から  
あなたはまだ戻らない  
あなたはまだ戻れない

あの日から時は止まったまま  
針は動かぬまま

あなたと同じくらの歳を迎えた今  
私は考えている

戦争について  
平和について  
でも  
あなたと同じくらの歳を迎えても  
私は考えられない  
遠い島で過ごすことを  
家族と離れて暮らすことを

だけど  
辛い現実と向き合った  
あなたがいるから  
私は今安心して一日を迎えられる  
明日が来るのを待つことができる

今年も時を刻む  
六月二十三日  
正午に手を合わせる私の肌を  
柔らかな風が  
そっと包み込み  
確かな思いが溢れ出す  
あの過ちを  
二度と起こしてはならない  
あの苦しみを  
二度と蘇らせてはならない

人々の心に  
色をそえることができるなら  
暗く沈んだ色ではなくて  
明るく澄んだ色で彩りたい

人々の未来に  
橋を架けることができるなら  
先の見えない不安定なものではなくて  
力強く進める丈夫なものに繋げたい

そして  
人々の世界を  
一つの言葉で表すことができるなら  
戦争ではなくて  
平和であると断言したい

六十七年前を生きた人々の後ろに  
私たちは続いている

私たちにできることは  
あの日を二度と呼び戻さないこと  
私たちに必要なことは  
あの日を受け止めて語り継ぐこと

礎に刻まれた人々の  
届けなかった思い  
叶えなかった願い

私たちが届けよう  
私たちが叶えよう

礎に思いを重ねて

## 慰霊の日の平和祈念資料館

6月23日(土) 慰霊の日には、沖縄県主催の沖縄全戦没者追悼式が行われました。毎年この日は常設展示室の観覧を無料開放し、開館を午後6時まで1時間延長しています。今年は3,240人の観覧者が入場しました。館内では「児童生徒の平和メッセージ展」、「子どもたちが見た沖縄戦」、「絵本が語りつぐ戦世」、「ビデオ上映会」と、多彩なイベントが開催され、平和への願いを新たにする日となりました。



### 資料のご提供について

戦後67年を迎え、戦争を知らない多くの戦後世代へ、二度とおこしてはならない戦争の教訓を語り継いでいかなければなりません。そのためには、戦前、戦中、戦後の資料等が重要な役割を果たしていくことになります。このような資料をお持ちの方、是非ご寄贈下さいませ、御協力お願い致します。詳しくは、沖縄県平和祈念資料館までお問い合わせ下さい。

### 資料の貸出しについて

当資料館では、「沖縄戦体験者証言ビデオ」、「沖縄戦写真パネル」、「沖縄戦の絵」、「砲弾の破片や、ヘルメット、手榴弾など「実物資料」、「平和キット」の貸出しを行っており、県外市町村からの申請も毎年増えております。平和学習の補助教材として、県内学校からの申し込みもお待ちしております。

### 県内学校向け平和講話について

沖縄戦の歴史的教訓を次代へ正しく伝えることが急務となっています。当館では沖縄戦の理解と平和のために何が出来るかを考えてもらうきっかけとなるよう、県内の小中高校、特別支援学校に対する「平和講話」を実施しております。内容は、沖縄戦に至るまでの歴史的経緯や沖縄戦の特徴、常設展示室の見所などです。総合学習等の一環としてさらなる活用をお願いします。年間を通して実施しておりますが、4月から慰霊の日にかけては込み合いますので早めの御予約をお願いします。

### 編集・発行：沖縄県平和祈念資料館

住所 〒901-0333 沖縄県糸満市摩文仁614番地の1  
URL <http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp/>

TEL 098-997-3844 FAX 098-997-3947  
E-MAIL [webmaster@peace-museum.pref.okinawa.jp](mailto:webmaster@peace-museum.pref.okinawa.jp)



日本平和博物館会誌  
JAPAN PEACE MUSEUM MAGAZINE